

ホームページ看護部紹介

新入職者

新卒入職

<2016年度2名 2017年度3名 2018年度1名 2019年度0名 2020年度3名>

4月に渡辺病院に就職しました。入職して3ヶ月、一般病棟、療養病棟、外来の3部署をまわり、それぞれの特徴を学びながら配属に向け経験を積んでいます。様々な事を体験し、わからないことや出来ないことはとても丁寧に教えてくれます。そのため、出来るようになったことや知識が増えていく実感があり、だんだんと看護師という仕事に楽しみややりがいを感じられるようになってきました。まだまだ未熟ではありますが、これからも日々努力していきたいと思えます。

既卒入職

5月から一般病棟で働いています。結婚を機に岡山市内から新見に移住することになり、結婚後も働くことを希望し就職を探していたところ、渡辺病院を紹介して頂きました。住民にとって身近な地域密着型の医療機関として重要な役割を担っており、ここで働くことで地域住民が住み慣れた地域で、生活し続けられる為の看護活動を提供することができるのではないかと、また自分自身の成長に繋がるのではないかと思い就職を決めました。まだ、働き始めて少しですが、病棟の雰囲気も良く働きやすい環境で、楽しく働いています。これから自分に何かできるかを考え頑張っていきたいと思えます。新見は自然豊かで美味しい食べ物や果物が沢山あるので、これから楽しみです。

災害看護登録4名

熊本地震ではJMATとして、西日本豪雨災害では災害支援ナースの先発隊として参加させていただきました。渡辺病院での救急対応、外傷対応などの処置や幅広い経験が災害現場ではすぐ生かすことができました。当院には他に3名の災害支援ナースがいます。災害支援ナースに興味がある方は一緒に経験を積みましょう。



委員会・ワーキング

褥瘡

メンバーは医師、看護師、看護補助者、リハビリ療法士、管理栄養士です。多職種で連携し、看護・リハビリ・栄養の観点から専門性を活かし情報を共有し、効果的な対策の実践を行っています。

がんサポート

入院・外来を問わず、患者様やご家族の全人的苦痛（身体的・精神的・社会的・スピリチュアル）に対する緩和ケアとして、2016年に医師・看護師・薬剤師・理学療法士などの多職種による緩和ケアチーム、また、地域での抗がん剤治療を目標に、がんの専門的治療の一環として、医師・看護師・薬剤師により化学療法チームが発足しました。阿新地域で唯一の安全キャビネットを導入。セーフティマネジメントに基づく化学療法治療の提供により、年間延べ100名以上の実施となりました。今年度より、チームを融合させ、「がんサポートチーム」として更なるがん患者様の支援をしていくチームを目指していきたいと思っています。



教育

BLS・ICLS・ハリーコール

年に1回、看護師対象にICLS研修、全職員対象にBLS研修・ハリーコール訓練を行っています。実際、院内外で急変が起こった際には、多職種が駆けつけチームとなり、患者さんの救命を行っています。



NST

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、言語聴覚士などの医療スタッフで構成し、早期介入を行い、栄養状態の改善を目的としたチームです。様々な要因で低栄養状態になった患者様に対して毎週ミーティングと回診・提案を行っています。

ワークライフバランス（子育て・介護）

女性は結婚や出産などで人生の大きなライフイベントを迎える度に、環境に変化があります。私もその一人で、仕事中心だった生活から出産を機に子育て中心の生活になりました。核家族であり、子育てへの協力体制を考えると以前のフルタイムでの勤務が難しく、今は時短勤務へ変更しています。そのような勤務時間の見直しにより、保育園の送り迎えができ、充分に子供たちと関わられる時間がとれています。毎日忙しく思いますが、時短勤務を選択したおかげで、一日の限られた時間を効率的に配分でき、ストレスなく家庭と育児と仕事の両立ができ充実しています。また職場には子育て世代が多く、育児のアドバイスが聞けて日々新しい発見があります。自分の生活スタイルにあった勤務時間や業務内容の相談がしやすく、働きやすい環境です。

大学院修了者 3 名、在学中 1 名

「働きながら大学院へ行くことも可能です」

新見市には新見公立大学があります。当院より 650m離れた、車で 2 分の所にあり、看護学専攻の大学院があります。私たち看護師も離職することなく修学し、修了した者も数名います。勤務調整もでき、勉強しながら働きたい人にやさしい病院です。

看護研究

岡山県看護協会 新見支部発表 毎年度 1~2 題

日本看護協会 ヘルスプロモーション学会発表 2016 年度 1 題 2018 年度 2 題

日本静脈経腸栄養学会発表 2017 年度 1 題

日本緩和医療学会発表 2018 年度 2 題 2019 年度 1 題



情報誌掲載

継続看護を担う外来看護 2019 3 号 【一般外来で重症患者を見逃さないための「緊急度判定支援ツール」の作成・運用】

実習施設

新見公立大学：基礎Ⅱ、老年（慢性期・統合）

吉備国際大学：基礎Ⅰ、統合（退院支援）